

平良港国際クルーズ拠点整備事業 起工式 の開催

(同日開催：平良港国際クルーズシンポジウム)

「平良港国際クルーズ拠点整備事業」について以下のとおり起工式を行います。
また、同日、起工式に先立ち「平良港国際クルーズシンポジウム(主催：宮古島市)」が以下の
とおり開催されます。

1. 平良港国際クルーズ拠点整備事業起工式(詳細は別紙1 式次第 を参照)

- ・主 催：内閣府 沖縄総合事務局
- ・開催日：平成29年9月30日(土) 16:15～
- ・場 所：沖縄県宮古島市平良字西仲宗根地先ヤード
- ・取 材：可(但し、別紙2「事前登録様式(起工式)」で事前申込みが必要)

2. 平良港国際クルーズシンポジウム(詳細は別紙3)

- ・主 催：宮古島市
- ・協 力：内閣府 沖縄総合事務局
- ・開催日：平成29年9月30日(土) 13:30～ (開場12:30)
- ・場 所：宮古島市文化ホール(マティダ市民劇場)
- ・取 材：可

※参加無料・事前申込み不要

【起工式 問い合わせ先】

内閣府 沖縄総合事務局

平良港湾事務所 総務課

TEL0980-72-4673 (代)

担当：福富、佐藤

FAX0980-73-5572

ホームページ：<http://www.dc.ogb.go.jp/hirarakou/>

【シンポジウム 問い合わせ先】

宮古島市 建設部 港湾課

TEL0980-72-4876 (代)

担当：砂川、本村

ホームページ：<http://www.city.miyakojima.lg.jp/>

平良港国際クルーズ拠点整備事業起工式

式次第（予定）

15：45頃 受付開始

16：15 開 式
式 辞
挨 拶
来賓祝辞・来賓紹介
事業紹介

16：55頃 鍬 入 れ（写真撮影）
園児による演舞

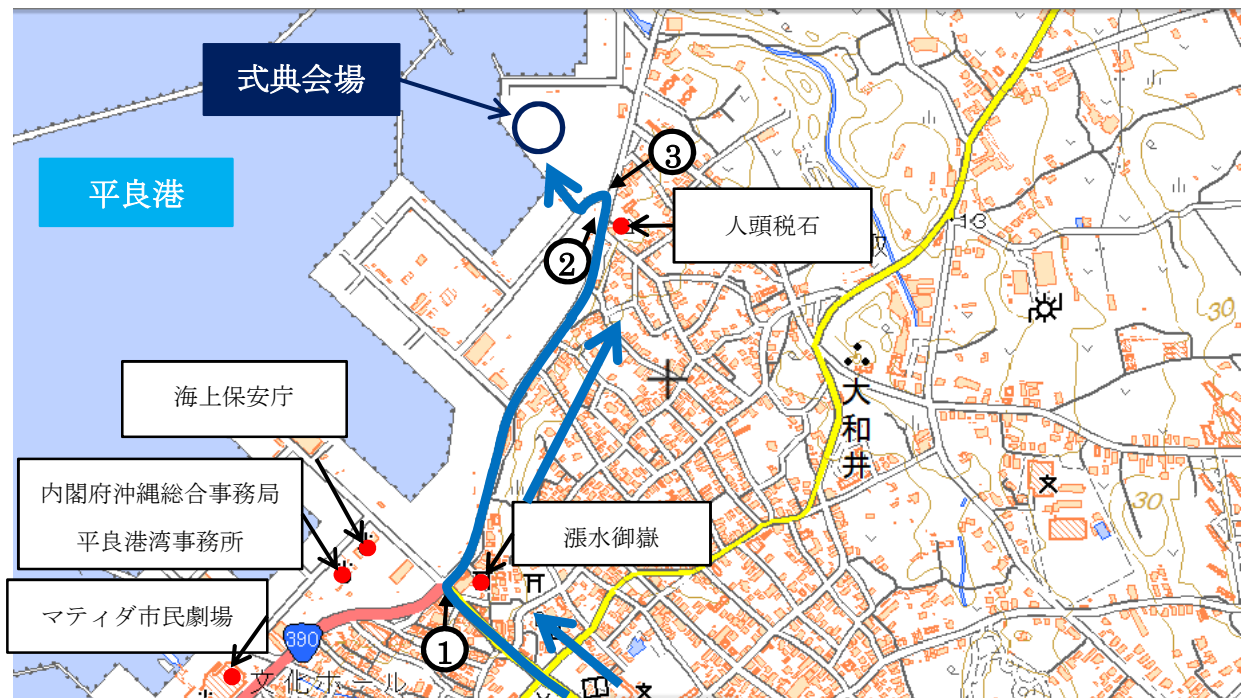
17：15頃 閉 式

※当日の状況等により変更する場合があります。

取材を希望される方は、別紙2「事前登録様式」でお申込み下さい。

お車でお越しの際は、会場特設駐車場を御利用ください。

平良港国際クルーズ拠点整備事業 起工式 会場案内図



① 平良港交差点を右折



② 式典会場入り口



③ 式典会場入り口



事前登録様式（起工式）

FAX 送信票

送信先

〒906-0012

沖縄県宮古島市平良字下里 7-21

TEL 0980-72-4673（代）

FAX 0980-73-5572

担当者

総務課 福富 洋

佐藤 彰洋

内閣府 沖縄総合事務局
平良港湾事務所 総務課

※登録締切り 9月25日（月）14:00

氏名	所属	連絡先	備考

Hirara Port International Cruise Symposium 2017

参加無料
事前申込み不要

平良港国際クルーズ シンポジウム

■メイン会場

宮古島市文化ホール(マティダ市民劇場)

■日程プログラム

平成29年9月30日 13:30～ (開場12:30)

○クルーズ関連パネル展示(玄関ホール)

○基調講演

「クルーズ観光による宮古島の成長可能性について」

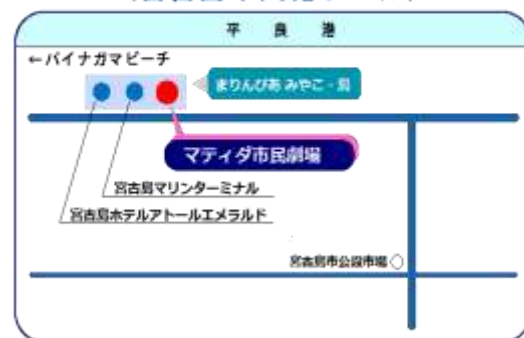
ポールチョン カーニバルアジア副社長

○パネルディスカッション

「宮古島のクルーズ振興と課題」

パネリスト: 安里繁信、長濱政治、小島博子、市川紗恵、山本三夫、坂口泰之

 **マティダ市民劇場**
(宮古島市文化ホール)



■主催／宮古島市 ■協力／内閣府沖縄総合事務局

■お問い合わせ／宮古島市港湾課 ☎0980-72-4876／FAX0980-73-0634

■協賛／宮古島クルーズ客船誘致・受入環境整備連絡協議会

宮古協栄バス(資)、(株)八千代バス・タクシー

宮古テレビ株式会社、宮古毎日新聞社、宮古新報株式会社

○基調講演 13:40～

テーマ「クルーズ観光による宮古島の成長可能性について」

世界第一位のシェアを持つクルーズ船社である、カーニバル社のカリブ海におけるクルーズ事例と今後の国際クルーズ戦略について講演を行います。また、カーニバル社が描く、平良港の将来像についても語っていただきます。

基調講演者紹介



Paul Chong (ポール・チョン)

カーニバル・アジア

ビジネス・ディベロップメント

ヴァイスプレジデント

アジア地域の事業開発部門ヴァイスプレジデントとして、急成長中のアジア市場へのクルーズ事業の成長戦略の遂行、アジア各地の港や航路の戦略的開発を担う。



○パネルディスカッション 14:30～

テーマ「宮古島のクルーズ振興と課題」

パネリストそれぞれの立場から、国際クルーズ拠点としての平良港の将来像やクルーズ船の寄港から宮古島市がさらなる経済発展を遂げるべくご意見をいただき、政策提言へとつなげます。

パネリスト紹介



コーディネーター

安里 繁信 (あさと しげのぶ)

(一財)沖縄公共政策研究所
理事長



長濱 政治 (ながはま まさはる)

宮古島市 副市長



山本 三夫 (やまもと みつお)

(一財)みなと総合研究財団

クルーズ総合研究所
所長



小島 博子 (こじま ひろこ)

(株)EGL OKINAWA

代表取締役



坂口 泰之 (さかぐち やすゆき)

三菱地所株式会社

新事業創造部

部長



市川 紗恵 (いちかわ さえ)

カーニバル社

アジアポートオペレーション

ダイレクター

「官民連携による国際クルーズ拠点」を形成する港湾

参考資料1

船社名 \ 港湾名 (港湾管理者)	横浜港 (横浜市)	清水港 (静岡県)	佐世保港 (佐世保市)	八代港 (熊本県)	本部港 (沖縄県)	平良港 (宮古島市)
カーニバル・ コーポレーション&plc	○		○			○
ロイヤル・カリビアン・クルーズ				○		
ゲンティン香港		○			○	
郵船クルーズ	○					



- ※ カーニバル・コーポレーション&plc: 世界やアジアで半分のシェアを持つクルーズ会社グループ。傘下に、コスタ・クルーズ社、プリンセス・クルーズ社などクルーズ・ブランドを有している。
- ※ ロイヤル・カリビアン・クルーズ: オアシス・オブ・ザ・シーズなど世界最大のクルーズ船を有するクルーズ会社。
- ※ ゲンティン香港: 傘下に、スタークルーズなどのクルーズ・ブランドを有し、我が国に寄港する台湾発着クルーズのシェアは8割強を占めるクルーズ会社。
- ※ 郵船クルーズ: 飛鳥Ⅱを所有する邦船社。

【平良港】官民連携国際クルーズ拠点形成計画書(目論見)の概要

参考資料2

応募者	沖縄県宮古島市、カーニバル・コーポレーション&PLC(カーニバル社)
国際クルーズ拠点形成の目標	○中国発着クルーズの主要拠点寄港地 ○将来的には下地島飛行場の活用等を視野にフライ&クルーズによる発着港への発展
寄港回数 の目標	運用開始年(H32年):250回 目標年 (H38年):310回

■漲水地区

○カーニバル社が、中国発着クルーズの拠点として優先的に使用予定。

◆漲水地区岸壁

(14万トン級(計画))

◆旅客ターミナルビル<カーニバル社>

○カーニバル社が快適なCIQ手続きが受けられる旅客ターミナルビルを整備



マジェスティック・プリンセス

(14万トン級、全長330m、乗客定員3,460人)

■下崎地区

◆下崎地区岸壁(既設)

■漲水地区

◆漲水地区岸壁(整備中)

旅客施設(新設)

